町内会回覧

交通安全情報北広島　№３

北広島市交通安全運動推進委員会

令和元年９月１日発行

北広島市交通安全市民大会開催結果について

７月１２日(金)10:00 からエルフィンパーク交流広場において交通安全市民大会が開催され、市民の皆様や関係機関･団体の方々など、約 280 人のご参加をいただきました。

すみれ保育園の園児による「ストップの歌」や、大曲大谷幼稚園の代表園児 2 名による「交通安全宣言」、そのほか、「交通事故の手記朗読」「交通安全誓いの言葉」などが行われ、参加者一同、今後の交通事故防止を誓い合いました。

大会終了後、参加者の方々と、道道江別恵庭線において交通事故防止の啓発活動を実施し、通行車両への事故防止を呼びかけました。

多数の皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。

サマーセーフティキャンペーンの実施

小学生による交通安全啓発～交通安全にご協力を!!

７月２９日(月)～８月３日(金)の５日間、市内小学生による「サマーセーフティキャンペーン」が市内大型店５店舗において実施されました。

このキャンペーンは交通事故撲滅を目指し、市内の各小学校(８校)の児童が、買い物に訪れたお客さんに夜光反射材等を配布して、交通事故の加害者・被害者にならないよう、広く交通安全を呼びかけるもので、今年は総勢６０名の参加がありました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

秋の全国交通安運動

★期間★　９月２１日(土)～９月３０日(月)

★運動の重点★

- ◆ 子供と高齢者の安全な通行の確保
- ◆ 高齢運転者の交通事故防止
- ◆ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆ 飲酒運転の根絶

９月 30 日（月）は「交通事故死ゼロ」を目指す日です。

【年間スローガン】ストップ・ザ・交通事故　～めざせ　安全で安心な北海道～

統計データからみた北広島市内の人身事故原因の特徴

昨年、道内では、人身事故が 9,931 件発生し、141 人の方が死亡しております。
この人身事故について、第一当事者の違反別をみてみますと

○　前方不注意、動静不注視、安全不確認が多く、全体の 57.8％

を占めていました。

一方、北広島市内では、高速道路で発生した事故を含め人身事故は 145 件発生しており、第一当事者の違反別をみてみますと、

○　全道と同様に、前方不注意、動静不注視、安全不確認が多い
○　上記３つの違反が全体の 77.2％を占め、全道の比率より高い

ことが分かりました。

事故防止のポイント

【ドライバーの皆さん】

○全席シートベルト、チャイルドシートを着用しましょう。
○一時停止場所は確実に停止し、それから左右の安全を確かめましょう。
○後退時は、後方の安全を確かめましょう。
○自分から見て『右から左』に横断する歩行者に注意しましょう。
○早めのライトの点灯に努めましょう。
○長距離運転は、２時間ごとに休憩をとりましょう。
○気分が優れないとき、疲れているとき、薬を飲んだ直後は、運転を控えましょう。
○速度が出ていると視野が狭くなり、事故の衝撃が大きくなるので、スピードダウンに努めましょう。

【歩行者の皆さん】

○横断する前は、立ち止まり、必ず左右の安全を確認して、車が近づいて来たら通り過ぎるまで待ちましょう。
○青信号でも、信号が変わりそうなときは、次の青信号を待つゆとりを持ちましょう。
○横断中、道路の中央付近で左方の安全を確認しましょう。
○道路を斜めに渡る『斜め横断』、駐車車両の前後や通過車両の直後に渡る『直前直後横断』、標識によって横断が禁止されている道路を渡る『横断禁止場所での横断』は違反ですので、絶対にやめましょう。
○外出時は、反射材の活用や白っぽい服装で目立つ工夫をしましょう。

デイ・ライト運動にご協力を！